

# 令和3年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・課題であった資料の収集力に関してはタブレットの活用で改善しつつある。
- ・制約が多い中でも立体、平面作品の制作、鑑賞などバランス良く学習できた。
- ・学習支援員による見守りで目の届きにくい場面が減った。

### (2) 課題

- ・タブレットを活用する際のルールの徹底。検索のしかたなどを指導する必要がある。
- ・フィジカルディスタンスを保って作業させる。
- ・ワークシート等を点検する時間の確保。

## 2 授業の分析（観点別）

### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体的に意欲が高い。作業が好きである。対象物をじっくり見ることによって特徴をとらえ、用具を活かして描くことができる。	発想したことを言葉で表すことは苦手な生徒が多い。自分の表現に理由づけすることにまだ慣れていない。	政策に対する意欲はあるが、準備物がそろいにくい点は課題である。期日を守って制作したり、提出物を出したりする意識づけも必要である。試験に向けての勉強を習慣づけさせていく必要性もある。

### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
身につけた知識や技能を定着させることが課題。反復学習やアレンジする力があまりない。	単純化・強調で情報を整理し、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えることができた。タブレットを使用しての調べ学習に積極的。著作権など、調べ方や情報の扱い方には課題がある。	作業の見通しができ、必要な道具の準備が出来る生徒が多い。提出物の提出率が高い。

### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
難易度の高い技法にも挑戦しようとする姿勢が同えた。	他教科で学んだ知識と美術科で学ぶことや制作結びつけることができる。意図に応じた表現方法に適した構図や画材、表現方法に意欲的に取り組む生徒が多い。	授業規律を理解し、落ち着いて授業を受けられる生徒が多い。提出物に対する意識が高い。自主学习が充実している生徒が多い。作業の見通しという点ではまだ課題がある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
引き続き、作業時には学習支援員による補助を要請する。プリントなどを用いて重点的に学習するポイントなどをレクチャーする。	ワークシートを用いて制作に取り組むまでにシミュレーションを行う習慣をつける。検索方法や収集した情報の精査を指導していく。アイデアスケッチをたくさんさせる。	授業の他、教科係を通じて持ち物の連絡を徹底させる。授業の導入時、簡単なトレーニングを取り入れるなどし、学習に集中しやすい雰囲気をつくる。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題の意図や効率を考慮した作業計画を立てさせる。座席の配置などを作業内容に応じて変え、安全かつ効率良く作業できる工夫をする。	タブレットを携帯させ、なるべく多くの使用を促すと共に検索方法や収集した情報の精査を指導していく。アイデアスケッチをたくさんさせる。	開催中の美術展に関連づけた作品を扱い、できるだけ本物の作品にふれられる機会を設ける。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
課題の意図や効率を考慮した作業計画を立てさせる。座席の配置などを作業内容に応じて変え、安全かつ効率良く作業できる工夫をする。	考えがまとまるまでの過程をアイデアスケッチやポートフォリオなどで可視化し、ストックさせる習慣をつける。	授業カードを活用し、作業に見通しをもち、計画的に作業が行えるよう配慮する。